

外国人市民とともに暮らすまちづくり 人権のひろば～人権・同和教育シリーズ～



本市には、約8,300人の外国人市民が暮らしています。学校に通う留学生も多く、特に四日市大学には5カ国290人の留学生が在籍しています。地域の小・中学校やシンポジウムなどで母国のことを紹介したり、地域の人々と交流を深め、互いの文化や習慣などの違いを理解し合ったりするきっかけづくりなどに励んでいます。最近では、卒業後も日本で生活する人が多くなりました。

8年前に中国から来日し、四日市大学を卒業したKさんも、迷わず日本での就職を決めました。「日本、特に四日市が好き。日本人はとても親

切で、道に迷った時に知らない私を家まで送ってくれた。また、日本の社会は平等な機会を与えてくれる」と言います。

【違いを認め、尊重し合うために】

Kさんには、市が主催する「四日市市多文化共生推進市民懇談会」の委員を務めていただき、「普段から外国人との付き合いがない日本人は、身構えてしまい、仲良くなるまでに時間がかかるので、少しずつ交流を進めることが大事」と課題についても意見を出していただきました。

地域に暮らす者同士がともに助け合う社会を築くには、何が必要かを

考え、行動していくことが大切です。言葉や文化、国籍の違いを越え、それぞれの意見を交わし合い、違いを認め尊重し合える社会を目指しましょう。



四日市大学の「持続可能な多文化共生を考える」グループディスカッション

お問い合わせ先
多文化共生推進室
(☎354-8114 FAX354-4873)

表紙こぼれ話

今回は、自転車競技で全国屈指の実力を有し、プロの競輪選手も輩出している朝明高等学校自転車競技部の皆さんを、練習場である四日市競輪場に訪ねました。



インターハイ優勝など、それぞれの目標に向かって日々、厳しい練習を重ねている選手の皆さん。

今回は、チームを引っ張る頼もしい3年生の皆さんに、意気込みや目標を聞きました。

今年度の表紙のテーマは、「スポーツで頑張る市民」です。全12回さまざまな種目のスポーツに打ち込む人々をご紹介します。



写真左から、堀田海人くん、下岡真也くん、川浦祐太くん、瀬古祐太くん

■堀田くん インターハイでは、自己ベストを出して優勝したいです。悔いの残らないように、頑張りたいです。

■下岡くん 怪我をして、三重県高校総体にいられず悔しい思いをした分、インターハイでは、上位を目指して必死にもがきたいです。

■川浦くん インターハイでは、日々の練習で培った力を出し切りしたいと思います。将来は、小学生からの夢、競輪選手になりたいです。

■瀬古くん 僕は、車輪サイズ20インチの競技用自転車を使う競技、BMXをしています。昨年はアジア大会ジュニア男子の部で2位になりました。目標は、全日本チャンピオンです。

取材後記

取材当日、四日市競輪場のバンクを走る選手の皆さんは、常に緊張感と集中力をもって、真剣なまなざし。

しっかり前を見据えて目標に向かう姿に、とても心を打たれました。

お問い合わせ先
広報広聴課
(☎354-8244 FAX354-3974)

有料広告掲載欄

エネルギーと夢とともに50年



LPガスと太陽光発電など、複数のエネルギーを有効に組み合わせ、エコと快適を両立したライフスタイルをご提案します。

エネルギーと住まいの **朝日ガスエナジー株式会社**

TEL: 059-332-2311

四日市市西坂部町4789-2

URL: <http://www.asahigas.co.jp>

E-mail: info@asahigas.co.jp

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 314,304人 [5月末日現在(+230)] ■火災件数 11件 [5月分(+6)] ■交通事故件数 874件 [5月分(-18)] (前年比)